

き金として、温暖化に伴う海面上昇による塩害が農村を離れる大量の人々を生み、彼ら「よそ者」の流入とそれへの対処を重視[小泉 2016] 片や、日本列島で扱った地域では、住民間の軋轢が動因となったようにはみえず、当時、増加した朝鮮半島からの移民（渡来人）は、その技術が積極的に活用される

- ・西アジアの都市化では木材は重要ではなく、中国の都市誕生期でも日本列島ほどの役割はない 朝鮮半島周辺が動乱期であった 5~7 世紀には、人的交雑が盛んで日本列島に多数の移民 マクニールのモデルによれば、縁辺に位置し免疫力がない日本列島では、伝染性の病が疫病となって流行しやすかった 都市化が指向した社会資本の整備や、穀物・木材をはじめとした需給体制の強化は、当時の時代の求めに応じ、疫病や自然災害がもたらす飢饉対策やその復興にも役立った

6. 朝鮮半島南部の事例

1) ソウル市 風納土城・夢村土城

ア. 風納土城（百濟漢城 王都 北城） 城壁内で 850,000 m²

城壁を 3 世紀中・後葉~4 世紀前葉の間のどこかで着手、4 世紀中葉以前に完工 ~475 年
土城壁 幅 43m 以上×高さ 10.8m→最大 13.3m、のべ 138 万人以上を動員(報告 16) 2 度の増築 壕字・隍(ほり) 門(西門:二重?・船着場方向)

祭祀用大型建物(神殿 慶堂地区 44 号) 呂字形・16m×18m 以上 9 号廃棄竪穴:祭祀遺物・「大夫」「井」刻字壺・馬頭骨ほか 101 号竪穴:祭祀の土器・犠牲動物の廃棄 206 号井戸(御井)

官庁・貯蔵施設 西側 197 番地の大型建物など

倉庫建物:197 番地夕地区 4 号建物・ラ地区 1 号(8×5 間総柱)・2 号建物(7×4 間)など
地下貯蔵:197 番地 長方形竪穴群、慶堂地区 196 号竪穴-中国製施釉土器・フグ・タイ等の魚骨など(王室・祭儀用貯蔵)

高位層住居地(東南側 現代連合住宅・シンウ 1 地区再建築敷地) 18 棟 六角形

道路 幅 7.5~8m 両縁を除き路面に砂利 交差点 東西・南北に区画か 漢江岸の津
手工業生産 土器窯 ガラス玉

イ. 夢村土城(南城)

風納土城と対になり防禦性重視 王宮も有り

土城壁 濠 木柵 雉城 望台 門

礎石建物 版築建物 苑池 貯蔵穴 竪穴建物 甕棺墓・土壙墓 武器類出土建物

ウ. 峨嵯山城(阿旦城) 三成洞土城(蛇城) 漢江南岸の堤

2) 忠清南道世宗市 羅城里遺跡 推定 1,000,000 m² 5 世紀前~後葉(中心は中葉)

道路網(幹線・支線で 11) 轍 砂利や土囊で路面整備 側溝

船着き場 幹線道路の方向・頻繁な通行痕跡 錦江岸に津を推測

街区(「区画邸宅」) 竪穴住居・掘立柱建物・倉庫・周溝付建物(邸宅内の祭祀) 道路を設置した後に区画邸宅を配置、道路合流地では三角形・細三角形等

東側道路で結ばれる大きな邸宅(唯一の井戸):最高位層

北東には道路と敷地のみのところ⇒造成過程

手工業生産 錦江側斜面に窯 7 基+粘土貯蔵坑+工房 or 土器乾燥場 主に大型甕を生産

工房：連接した周溝群

貯蔵施設 倉庫群：河岸からの幹線道路沿い、分岐点

水庫 河岸と接する段丘（共同） 邸宅内（私用） 水に経済的価値

祭祀施設 北側に溝で囲まれた方形区画を連接 祭儀用の大甕 南に空地⇒構成員が参集する集会場

土城 集落を管理・統制する行政治所

墓域 土壌墓7基：南端 KM004号墓：木棺で上部に積み石、新羅・伽耶の影響の装身具 西500mのソンウォン里古墳群が羅城里集落の墓域、邸宅に応じた階層差

河道（水路） 木列（治水？） 水辺祭祀

谷底？部 遺跡中央部 無遺物・無遺構 西側旧河道と繋がり全体の排水（湖水？）

広場 道路の分岐点 市場的性格：倉庫群の南、物品の集荷・分類 不規則な柱穴や溝状遺構⇒仮設物

3) 全羅南道光州市 東林洞遺跡 榮山江左岸 5世紀中葉前後

人口推計 潭陽台木里・応龍里テアム遺跡 1,200,000 m²に最少2,000棟の竪穴住居⇒最少4,000人（李暎澈2017）⇒馬韓小国の中心邑落

中心建物群（5棟） 溝で囲まれた、15m×9m(6×4間)総柱建物、両側に8m×7.2m(3×4間)総柱建物2棟、外側に5.5m×4m(2×3間)総柱建物2棟の対称配置

広場が隣接 溝で他の居住区と区分

住居群・井戸 溝により幾つかの区画 百濟系大壁建物（壁柱建物）

倉庫（64棟） 群集域有り

道路 多数の轍

貯蔵竪穴 水路 導水施設 水利施設・田畠（西側）

百濟系・伽耶系（小伽耶系土器等）・倭系（須恵器等）などの遺物⇒交易・市場・物流拠点 周辺に衛星的集落、鉄器・土器・玉などの専業手工業 馬飼育集落

4) 慶尚南道金海市 官洞里遺跡（・鳳凰台土城） 古金海湾 5～6世紀

棧橋・護岸 長さ24m・幅2.5～3m

道路 幹線（幅6m内外）と支線 側溝 暗渠 路面整備 轍

倉庫群

住居・井戸・竪穴

鳳凰洞遺跡 堤防状遺構・型枠沈床 城壁などの遺構

5) 慶尚北道慶州市 月城と周辺 皇龍寺造営(553)・条坊道路の前段階(6世紀中葉以前)

王宮・行政機能・高位層住居 月城と周囲 土城壁・濠

墓域（支配階級） 皇南洞・皇吾洞古墳群

手工業生産 鉄器など・隍城洞

防禦 明活山城など

参考文献

大阪文化財研究所2018、『総括シンポジウム「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地—」資料集』大阪歴史博物館2018年12月22・23日

南秀雄2018、「上町台地の都市化と博多湾岸の比較—ミヤケとの関連」『大阪文化財研究所研究紀要』19号

南秀雄2019、「都城制以前の大坂上町台地と奈良盆地の都市化の比較」『大阪文化財研究所研究紀要』20号